



QFN 通信

Qshu Forest Network News

NPO 法人 九州森林ネットワーク

巻 頭 文 理事長 佐藤 宣子(福岡県 福岡市)

第 22 号 since2005.6.1

発行日 2017.10.11

本年 7 月 5 日に福岡県朝倉市、東峰村、大分県日田市は未曾有の豪雨被害に襲われました。被災された皆さまに心よりお悔やみ申し上げます。豪雨は、時間雨量 100mm 以上の激しい雨が数時間続き、6 時間の雨量が 800mm を超えました。それによって、900 ヶ所以上の表層崩壊が発生し、土砂と流木を一気に押し流しました。

筑後川の流域は、上流域から林業、果樹、畑作、水田、有明海の海苔と農林水産物に恵まれた地域です。多数のため池や堰、用水、クリークを張り巡らせて、水を分配してきた歴史があります。今回の豪雨で多くのため池が決壊し、溜まっていた流木を数キロ先まで流下させました。民家を倒壊させ、橋の橋梁に引っかって洪水を引き起こし、広範囲な水田に土砂と流木を侵入させました。一部は筑後川本流から有明海まで流れて漁業被害ももたらしています。流木量は約 20 万 m³ だと推定されています。

筑後川流域の中でも被災地は人工林が 8 割を超える林業地であることから、人工林だから、九州特有の挿し木苗だから被害が発生したとする報道もありました。林野庁による「流木災害等現地調査結果（概要）」によると、今回の雨は森林が有する土砂崩壊を防止する能力をはるかに超えていたため、樹種や間伐などの手入れ状況に関係性が見いだせず、局所的な集中豪雨が主な要因と考えられるとされています。今後、様々な観点から検証が必要ですが、森林は一定の雨量までは土砂の崩壊を抑え、恵みをもたらすけれども、限界があること。限界を超えると、流木によって被害を拡大する可能性があることを示した災害だったといえます。地球温暖化の中で、特に九州では、森林の限界を超えるような集中豪雨の頻度が増えることが予想されます。

今後の森林管理の方法についても、まず森林で持ちこたえる限界をあげるための施業のあり方、そして限界を超えることを前提として被害を軽減するための施策の両面から考える必要があります。九州森林ネットワークでも今後、議論を深めたいと思います。

11 月の第 22 回森林フォーラムでは、林業就業者の育成をテーマに、都道府県で取組が広がっている林業大学校に焦点をあてて議論します。基調講演の只木良也先生は京都府立林業

<発 行>

NPO 九州森林ネットワーク

本部：大分県日田市

<編集責任>

熊本県・小国オフィス



【目次】

第 6 回プレミアム研修会の報告
P.2～P.6



第 6 回 NPO 法人九州森林ネットワーク会員向け プレミアム研修会 in 国東 報告 「伝統文化と森林利用」

平成 29 年 5 月 12 日(金)、13 日(土)にて、プレミアム研修会を実施いたしました。

今回の研修では、「伝統文化と森林利用」をテーマに大分県 国東半島を訪問致しました。

国東半島は、古来より神仏習合の地として有名な地域です。また、関西方面への交通の要衝としての役割もありました。

そのため、九州最古の木造建築物「富貴寺大堂」を代表として伝統ある巨大木造寺院が存在しています。それらを見学しながら、大分県東部振興局様を始めとして、多くの関係者の協力を得ながら、「繋がりのある林業・地域産業」について研修いたしました。

5 月 12 日(金)

①大分県 東部地域の林業

大分県東部振興局様より、国東半島地域の林業について説明を受けました。

東部地域の素材生産量は、約 6 万 m³であり、人工林におけるスギ・ヒノキの割合は、50:50 であり、大分県のお他地域と比べて、ヒノキの割合が多い地域です。

近年は、鳥獣被害は減少傾向との事ですが、まだまだ高水準の鳥獣被害があるとの事です。

乾しいたけ生産量は、県全体の 13.3%と盛んとなっています。



②財前林業 様 施業地見学

林業専用道 ス子ハタ線を通して、財前林業様のヒノキ伐採現場を見学いたしました。
親子2名で、林業をやっています。



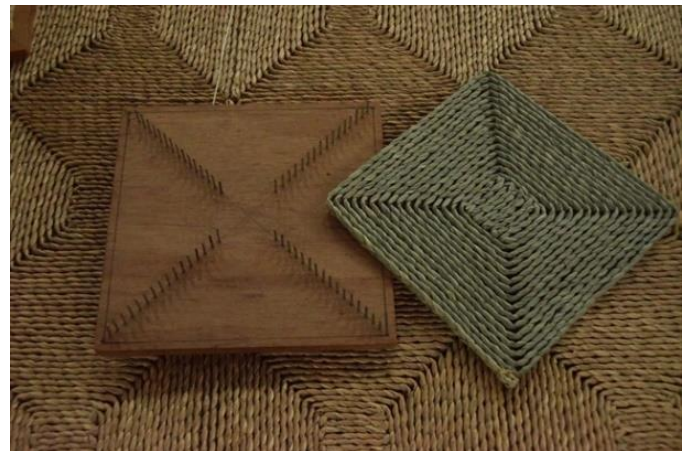
③国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会 説明

国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会 林会長より、国東半島宇佐地域が認定された世界農業遺産に関する説明と、クヌギ林・シイタケ栽培を通じた生物の多様性を育む農林水産業に関する説明を受けました。



④くにさき七草イ振興会 説明及び工場見学

かつて、年間 500 万枚程度生産していた大分県産 国東七草イですが、近年はイ草などに押され絶滅寸前までに生産が減っていました。国東市の安岐地区(農家 5 軒)だけしか生産しなくなりました。この状況を変えるため、平成 22 年にくにさき七草イ振興会が設立されました。最近、琉球畳のブームなどにより七草イが見直されてきています。



⑤アキ工作社工場見学

小学校跡地を会社として利用しているアキ工作社を訪問いたしました。

立体造形パズル(商品名:d-torso)を製造・販売しています。元々は段ボールを原材料としていましたが、近年は、大分県産スギを利用した立体造形パズル(d-torso)を開発し、販売しています。関心のある方は、HP からご購入いただけます。(<https://www.d-torso.jp/>)





⑥懇親会

各地域の情報交換を行いながら、懇親会を開催いたしました。



5 月 13 日(土)

⑦富貴寺

九州最古の木造建築物、富貴寺本堂を見学いたしました。

設計士の方々は見る所が違いました。



⑧ 両子寺

現在、両子寺が取り組んでいる両子の森プロジェクトを代表の寺田豪淳様に、

紹介いただきました。過疎化が進んでいるお寺では、移住者などの新たなコミュニティ作りの一環として、様々な取組を行っているとの事です。



⑨ 竹栽培とタケノコ生産(杵築市 久保畑集落竹林組合)

荒廃竹林を整備し、タケノコを生産・販売し収入源とすることで、地域の活性化を図っています。付加価値の高い白子タケノコを京都の舞妓さんに販売しています。

大変整備された竹林でした。



参加者は 12 名でしたが、2 日間に渡ってかなり密度の濃い視察ができたかと思います。

研修視察にご協力いただきました関係各位 様、また国東地域の林業の状況の説明や 2 日間アテンド頂きました大分県 東部
振興局 農山漁村振興部の皆さまには、厚く御礼申し上げます。